

鉄道ピクトリアル

2008年2月号 Vol.58 No.2 通巻No.800

創刊800号記念号

■表紙 鉄道風景&名所800より……………進藤 匡・編集部

上：糸魚川のレンガ車庫と大糸線のキハ52(進藤)／下右：日野尻森林鉄道木曾川橋梁(進藤)／下左：JR九州800系(編集部)

■グラフ

鉄道風景&名所800 (1~7ページ)

池田嘉晃・石田敦巳・石原裕紀・大里信之・尾崎 涉
河原慶明・静 拓志・杉崎健一・豊田浩基・沼尾吉晃
根本幸男・長谷佳敬・三木理史・森 友紀・安田孝哉
藪下茂樹・山中 茂・米倉裕一郎・湯川徹二

鉄道ピクトリアル800号の書棚 (8ページ)……………根本 幸男

*

Pictorial Color Gallery 富士山 間近に……………飯塚 卓治…113

東京急行電鉄7000系／川崎重工低床電池駆動LRV「SWI
MO」／JR東日本E233系3000番代落成／因美線スロー
イフ列車／DF50 1四国鉄道文化館へ搬入／東京地下鉄
80周年記念ラッピング車／秩父鉄道1000系カナリヤイエ
ロー登場／関東鉄道一般公開ほか

116~120

トピック・フォト (各地・関東・中部・関西)……………121

相模鉄道の話……………構成：大里信之…128

次世代LRTの研究施設—東京大学生産技術研究所千葉試験線完成
……………構成：編集部…130

鉄道博物館 展示車両搬入の記録……………構成：白川 淳…132

D51その一族—1115分の1の素顔—(92)……………構成：編集部…134

Eurostar 13年目の飛躍……………与野 正樹…136

■本文

今月の話題：創刊800号……………編 集 部… 9

昭和の鉄道シーン—鉄道ピクトリアル800号と鉄道旅行—
……………山田 亮… 10

鉄道風景&名所800

JRの路線探訪……………	24
民鉄の路線探訪……………	34
駅めぐり……………	44
運転施設・設備，線路配線……………	58
面白い列車，楽しい列車……………	64
古豪から新鋭まで 魅力ある車両……………	70
鉄道遺産を訪ねる……………	82
橋梁・トンネル……………	99
特殊な鉄道……………	105
奥深き鉄道趣味……………	108

鉄道の話……………編 集 部…112

JR東日本E233系1000番代……………和田 好庸…137

日本の高速鉄道—その軌跡と今後の展望—……………高津俊司・土井 充…142

私の鉄道人生75年史 第14回 千代田線6000系の車両設計事始め
……………里田 啓…154

「鉄道博物館」レポート番外編 鉄道博物館オープンへの道……………白川 淳…158

北米都市交通の革新……………湯川創太郎・森 五宏…160

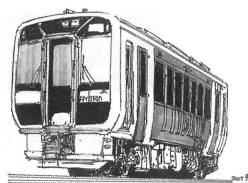
11月のメモ帳……………165

読者短信・情報ファイル……………166

後部車から……………171

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット：山本茂樹

今月の話題

創刊800号

本誌は1951(昭和26)年7月の創刊号発行以来、本号をもっておかげさまで通巻800号を迎えることができた。ひとえにご愛読いただいている読者の皆様、それぞれに興味深い記事、あるいは貴重な記録写真、すばらしい鉄道写真をご寄稿下さってきた皆様、本誌周辺にてさまざまな情報やアドバイスを提供して下さる方々、そして日々叱咤激励を頂戴している編集委員の皆様をはじめ、本誌の制作、印刷等に関わる業者の皆さんを含めて多くのご助力があってこそこのことであり、編集部一同、心より御礼申し上げる次第である。

さて、近年は“鉄道ブーム”到来といったムードに接する機会が少くない。テレビ、新聞などはたびたび鉄道を取り上げ、鉄道事業者が企画する基地公開等のイベントは多数の来場者で賑わいを見せ、長年鉄道雑誌に携わってきた側としてはうれい限りである。ただ、その一方で鉄道趣味のかたちが急速に、そして大きく変わりつつある実感があり、そうした中で本誌は800号の伝統と実績に基づいて、これから900号、1000号へとどのような姿勢で進めていくか、繰り返し検討を行っているところである。とはいえ、編集方針を大きく変更する気は全くなく、記録性を大切に、長く読み継いでいただける内容を第一義とし、そのうえで広く鉄道への関心を高め、鉄道をめぐる新たな発見を感じていただける誌面づくりをモットーにしていきたいと考えている。鉄道趣味の本流といわれる車両研究はもとより、鉄道の多彩なジャンルをテーマとした特集を基本に、時事の話題、趣味の研究成果など雑誌の性格を最大限活用して、いっそうの誌面の充実を図っていききたいと思う。末永くご支援をいただければ幸いです。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI

Oak Ochanomizu Bldg., Kanda Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan